

2025.12.17

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

## 【立命館土曜講座のご案内】

2026 年 1 月 テーマ

障害と SRHR

(性と生殖に関する健康と権利)

開催日程 : 2026 年 1 月 17 日(土)・24 日(土)

開催方法 : ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

2026 年 1 月の立命館土曜講座は、立命館大学生存学研究所の企画として「障害と SRHR(性と生殖に関する健康と権利)」をテーマに、ハイブリッド形式(対面・Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

### 記

■立命館土曜講座 2026 年 1 月 テーマ 「障害と SRHR(性と生殖に関する健康と権利)」

(1) 優生政策とリプロダクティブ・ジャスティス

日時 : 2026 年 1 月 17 日(土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師 : 立命館大学先端総合学術研究科 特任教授 松原 洋子

(2) 「産む・生まれる」から「育てる・育ち」へ—視覚に障がいのある母親と子どもの日々からみえること

日時 : 2026 年 1 月 24 日(土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師 : 神戸市看護大学看護学部 准教授 平田 恒子

開催方法 : ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

内 容 : 別紙参照

聴 講 料 : 無料

定 員 : 末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー 400 人

※実施前日 12 時 00 分までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法 : 立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumei.ac.jp/doyo/>

主 催 : 立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他 : 文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ

### ●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当: 武田・堀 TEL.075-465-8224

## 別 紙

### ■立命館土曜講座 2026年1月テーマ「障害とSRHR(性と生殖に関する健康と権利)」

#### (1) 優生政策とリプロダクティブ・ジャスティス

日時：2026年1月17日(土) 10時00分～11時30分

講師：立命館大学先端総合学術研究科 特任教授 松原 洋子

講師による内容紹介：

「優生政策」とは、社会にとって「望ましい」とみなされる子孫を増やし、「望ましくない」とされる子孫を減らすことを目的に、法律や社会制度を通じて人の生殖に介入する政策を指します。前者は「積極的優生学」、後者は「消極的優生学」と呼ばれます。2024年には、消極的優生学を推進した優生保護法に対し、最高裁が違憲判断を示しました。優生保護法は敗戦直後の1948年に制定され、1996年に母体保護法へ改正されるまで、優生上の理由による多数の強制不妊手術や人工妊娠中絶を可能にしてきました。「優生」が介入する生殖をめぐる問題は日本だけでなく世界各地で生じており、生殖の自己決定を実質的に保障する環境を求める「リプロダクティブ・ジャスティス」の概念も提起されています。性や生殖に関わる困難は、個人や家族の問題にとどまらず、社会構造そのものと深く結びついています。

本講座では、「優生政策」を手がかりに、歴史学と生命倫理の視点から、生殖に関わる権利と社会正義について考えていきます。

#### (2) 「産む・生まれる」から「育てる・育ち」へ—視覚に障がいのある母親と子どもの日々からみえること

日時：2026年1月24日(土) 10時00分～11時30分

講師：神戸市看護大学看護学部 准教授 平田 恭子

講師による内容紹介：

障がいのある女性たちは、かつて優生保護政策のもとで「産むこと」を制限されてきました。その歴史は重く、決して忘れてはならないものです。現代においても、その影響や思想が完全に払拭されたとは言い切れない状況が残されています。

私は、ある全盲の夫婦と出産の場で出会ったことを契機に、視覚に障がいのある妊産婦へのケアを明らかにしたいと考え、多くの視覚に障がいのある子育て中の母親へのインタビュー調査を行ってきました。その中では、先述のような歴史的背景に起因する経験や、医療現場において育児能力を疑われるというやるせない経験が語られる一方で、彼女らが自らのペースと方法で育児を進め、戦略的に主体的に生きている姿も見えてきました。彼女たちの語りから、「視覚の不在」が「育児の不完全」を意味しないことを教えていただきました。

本講座では、インタビューの一部や育児場面の動画等も紹介し、皆さんにそのリアリティに触れていただきたいと考えています。最終的には、この機会を通して、老若男女を問わずご参加の皆さんそれぞれが、自らの「これまで」「今」「これから」における「産む・生まれる」「育てる・育ち」をあらためて感じ取るきっかけとなることを願っています。

### ■立命館土曜講座

1946年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumei.ac.jp/doyo/>